

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【地震一口メモ】

地震・津波監視体制と情報の流れ

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

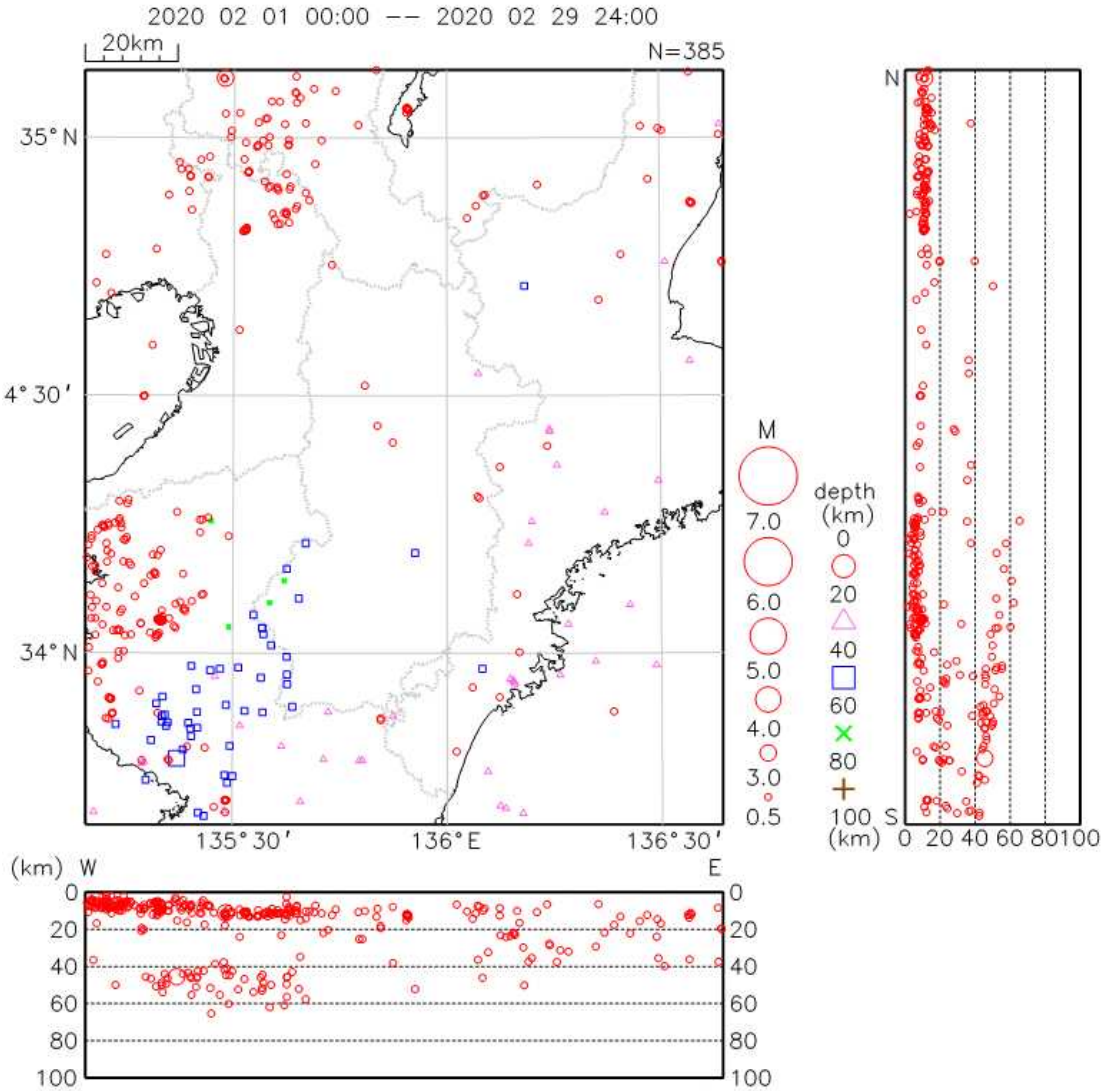
奈良地方気象台

2020年2月

# 【奈良県の地震活動図】

## 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

奈良県内で2月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

# 【地震一口メモ】

～地震・津波監視体制と情報の流れ～

## 観測データから情報へ

気象庁では、地震や津波の状況を迅速かつ的確に社会に伝えるため、気象庁や関係機関が全国に設置した地震や津波などの観測点のデータを収集し、地震活動等総合監視システム(EPOS : Earthquake Phenomena Observation System)により24時間体制で監視しています。地震の発生を検知した場合には、収集したデータをもとに、地震の規模や震源の決定、津波の予測などの解析をただちに行い、緊急地震速報や津波警報・注意報の他、さまざまな情報を作成し発表しています。

この監視から情報発表までの一連の作業は、大規模な災害時にも確実に行えるよう、東京と大阪の二拠点で実施されています。

## 情報を防災対応に

気象庁が発表する各種情報は、目的に応じたさまざまな方法で伝達され、防災対応に活用されています。

地震や津波発生直後に発表する緊急地震速報や津波警報といった緊急的な退避や避難行動を呼びかける情報は、放送局によるTV・ラジオの緊急放送、携帯電話事業者各社による緊急速報メール、全国瞬時警報システム(Jアラート)の防災行政無線放送などを通じて地域住民にただちに伝えられます。

その他、地震や津波に関する各種情報は、政府や自治体、防災関係機関、報道機関等に伝達されるとともに、気象庁HPなどでも公表しています。これらは、関係機関の初動対応、被害地域の確認、被害状況の調査のほか、住民の避難や救助のために活用されています。

また、自治体や防災関係機関、地域住民が応急復旧作業を行う際には、発生した被害の全体像の的確な把握に加え、その後の地震活動などによる家屋の倒壊や土砂災害といった二次災害への注意が必要となります。気象庁はこれらの作業の計画策定や実施を支援するため、震度分布図や地震活動・津波の状況および今後の見通し、防災上の留意事項などを集約した「地震解説資料」を提供しているほか、現地の災害対策本部や記者会見では職員による解説も実施しています。



本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去4年間程度分掲載しています。  
URL : <https://www.jma-net.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

